

“長生きして良かった”のお手伝い

～♣鍼灸で癒し♣～

特別養護老人ホーム 白雪
鍼灸師 ◎大石 昌路
末広 浩二

施設概要

◆静岡県御殿場市

・特別養護老人ホーム白雪(平成18年2月開設)

入所 120名、デイサービス 30名

短期入所生活介護 20名

白雪居宅介護支援センター

・短期入所生活介護 百寿(平成22年4月開設)

44名

関連施設概要

◆静岡県御殿場市 とらのこ保育園(平成22年4月開設)

・特別養護老人ホームすずらん(平成24年9月開設予定)

・入所150名 デイ30名 短期入所生活介護 30名

・ケアハウスすずらん100名

◆沼津市 特別養護老人ホーム高砂(平成23年5月開設)

・フジ高砂クリニック(整形外科・脳神経外科)

◆山梨県南都留郡富士河口湖町

・特別養護老人ホームなでしこ(平成24年5月開設)

白雪 癒し系 インフォメーション

うさぎの赤ちゃん

屋台



お花見



当施設では

- 鍼灸師(2名)
- 機能訓練指導員(理学療法士2名、作業療法士1名)
- 対象者：痛み・こり・痺れ・むくみ・精神的ストレスに対応
計40名(女性31名・男性9名)
- 頻度：週1～2回
- 施術時間：40分～1時間程度
- 鍼灸代金：鍼1本20円 灸1個15円
(使用した分の材料費のみを請求)
約1,000円/月程度

実際使用している鍼と灸

鍼



材質：ステンレス(使い捨て鍼)

灸



材質：燃烧部→もぐさ

鍼灸施術時の注意点

- 初めての利用者様に行う時、または軽い刺激にする場合、一番細い鍼を使用(灸は数を少量に)
(鍼の直径細さ 0.16ミリ)
- 鍼を刺入する前に利用者様がリラックスできるようコミュニケーションを取る
- けむりや臭い・場所や時間に配慮する

※利用者様の体調、痛みの強弱、部位 など
(急性期で患部に腫脹、熱感がある場合は行わない)

鍼灸の概要

- 古代中国で考え出され鍼とお灸を使用し、経絡ツボに刺激を与え、痛みこりなどに対し自然治癒力を発揮できる状態に近づける作用がある



(日本では、一般に東洋医学と呼ばれる)

当施設で鍼灸を行う目的

利用者様の様々な痛み浮腫みの軽減・緩和
運動制限の維持・向上、ADLの低下予防
癒しの作用(精神的ストレスの軽減)

長生きして良かったのお手伝い

取り組みのきっかけ

- 利用者様は椅子もしくは、車椅子で一日を過ごされている方がほとんどである
- 高齢という事もあり下肢に何らかの症状が現れている方が多い
- むくみや痛みで生活の質が落ちている

[事例 I] A様紹介

- 利用者情報：82歳 女性 要介護3
- 疾患名：重度の認知症
- 症状：下腿のむくみ
- 移動：手引き歩行で可能
- 問題点：下腿のむくみが著明
包帯での巻き上げは嫌がり外してしまう
- 目的：下腿のむくみの軽減・再発の予防
精神的な安定を図る

実際の様子

内容：鍼灸・マッサージ 頻度：2回/週
両下肢施術 施術後(2か月後)



A様の施術結果

- 重度な認知症があり、包帯による巻上げを不快で外してしまうが、鍼灸・マッサージを行う事で劇的にむくみ解消ができた
- 現在も予防として行っており、軽減された状態が保たれている(リンパ液の流れや血行促進)
- **A様の反応** 落ち着きのない方に鍼灸を施行する事により、うとうとされる事がある

[事例Ⅱ] B様紹介

- 利用者情報：100歳 女性 要介護1
- 疾患名：両変形性膝関節症
- 疼痛部：右膝内側の痛み
- 移動：バギー歩行 時々車いす
- 問題点：右膝内側の痛みと負担のかかった左外くるぶし～かかとへ痛みがありその為不眠
- 目的：痛み軽減による睡眠時間確保
歩行能力低下の予防
会話を楽しむ

実際の様子

内容：鍼灸・マッサージ 頻度：2回/週
右膝内側の施術 左外くるぶし後方の施術



B様の施術結果

- 睡眠中でもズキズキ痛みが続いたが、現在は痛みが解消され夜眠れるようになった
- B様の変形した骨自体は治す事は出来ないが右膝の痛みと負担のかかる左外くるぶしからかかとの痛みが軽減された(鍼鎮痛作用)

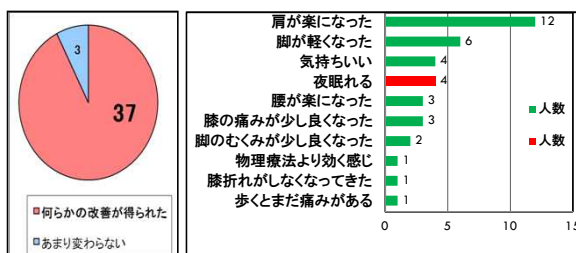
～♣鍼灸で癒し♣～

鍼灸の時間が
待ち遠しいよ～(^0^)
100歳 100歳♪



利用者様の感想

鍼灸の効果 何らかの改善が得られた内訳



まとめ 1 (精神面・環境)

- 施術の間、常にコミュニケーションを多く取る事で精神的ストレスの軽減に繋がる
- 「今まで家にいた時の懐かしいにおいがする」
- お灸や線香の香りも癒しの相乗効果がある
- 昼時はなるべく避ける
- 煙・においを不快に感じる方もいる。場所移動・窓を開ける



まとめ 2 (身体面)

- 下肢の浮腫みに対し、包帯による巻き上げではなく、鍼灸によってむくみを軽減させる事ができた
- 膝の痛みや、外くるぶし周囲の痛みが軽減された事により、バギー歩行での活動範囲の維持、向上につながった

今後の課題

- 利用者様のニーズに対応出来るよう環境の整備と鍼灸適応症状の知識をさらに習得する
- 不眠や継続的に下肢のむくみに対してアプローチし、生活リズムの改善と症状緩和に取り組む
- “長生きして良かった”のお手伝いの一環として、鍼灸で“癒し”を提供するために、今後も特養における鍼灸師の役割について探求していきたい

ご清聴ありがとうございました



白雪 癒し犬 きなこちゃん